

# 「地域発 元気づくり支援金」平成27年度実施事業に係るフォローアップ調査

## 回答団体数【地区別】

佐久	上田	諏訪	上伊那	南信州	木曾	松本	北アルプス	長野	北信	合計
9	11	9	10	16	10	19	8	17	9	118

## 団体の活動概要についておうかがいします

【問1】 団体の設立年をお願いします。また、設立時と現在の構成員の人数をお願いします。

設立時と比べ、構成員が増加	54
設立時と比べ、構成員が同数	16
設立時と比べ、構成員が減少	22
未回答・不明	26

【問2】 現在、構成員を募集している場合はその方法や課題・工夫等があればお願いします。

- HPや募集チラシによる巡回等
- SNSの活用
- 構成員のネットワークによるクチコミ勧誘
- 若い人材を直接スカウト
- 人材確保のために、イベントに参加して呼びかけ
- 他

## 元気づくり支援金活用事業の実施後についておうかがいします

【問3】 元気づくり支援金を活用して取り組んだ活動（以下「活動」という。）を継続していますか。

- ① 継続している。（一旦休止した後、再開した場合を含む。）
- ② 同じ趣旨の活動を実施している。
- ③ 休止・終了した。

①	75
②	28
③	15

①、②を選んだ方は【問4】へ、③を選んだ方は【問9-1】へお進みください。

【問4】 活動は地域に対してどのような効果があると感じていますか。

- 高齢者の交通事故抑制に効果がある。
- 交流人口の増加、人と人とのつながり。
- 周辺住民の買い物機会の創出。地域住民と観光客との交流の場の創出
- 地域住民を巻き込んだ活動となり、地域づくりが進んだ。
- 地区への思いが深まり、愛着と絆ができる。
- 空き家・空き店舗の再生。観光誘客
- 地域の歴史を守り後世に残す。トレッキングなどの集客
- 農家の収入支援と身障者の方々の就労支援
- 集落単位における地域防災の向上（減災・防災対策）
- 観光振興・環境美化
- 他

【問5】 元気づくり支援金活用事業を実施した年度と、現在とを比べて活動に変化はありましたか。  
次の番号からお選びください。

○ 活動経費 ①増えた ②減った ③ 変わらない

	活動経費	参加者数
①	29	56
②	37	16
③	36	30
無回答	1	1

○ 参加者数 ①増えた ②減った ③ 変わらない  
(※ 構成員を除く事業への参加者数)

○ 活動頻度等 ①増えた ②減った ③ 変わらない  
(※ イベント開催数、支援金で整備した施設等の稼働率など)

	活動頻度等	活動の幅
①	43	67
②	15	7
③	44	26
その他	0	1
無回答	1	2

○ 活動の幅 ①広がった ②狭まった ③ 変わらない  
(※ 元気づくり支援金活用事業とは別に、新たな活動に取り組んだ → ①広がったに計上)

【問6】 活動資金の調達先を次の番号からお選びください。(複数回答可)

- ① 国、県補助金
- ② 市町村補助金
- ③ 寄付金
- ④ 構成員の負担金
- ⑤ グッズ等製品販売
- ⑥ 委託事業等による事業報酬
- ⑦ イベント等参加者負担金
- ⑧ 経費必要なし

①	22
②	35
③	24
④	31
⑤	15
⑥	10
⑦	29
⑧	7

【問7】 活動資金を得るための取組や課題・工夫等あればお願いします。

- チラシへの広告等による協賛企業の募集等
- 商品販売や作業の受託
- 参加者からの参加費や関連企業等による協力金
- 構成員からの会費徴収を検討
- 構成員、企業スポンサーを広く公募している。
- 施設の運営受託
- 他

【問8】 活動していく上で、課題となっていることは何ですか。次の番号からお選びください。  
(複数回答可)

- ① 資金の確保
- ② 人材の確保
- ③ 他の機関・団体との連携
- ④ 地域住民の理解
- ⑤ 団体運営に関する知識
- ⑥ その他(具体的に下欄にお書きください。)

その他

- 参加者のモチベーション低下
- 構成員の高齢化
- 市町村の協力が得られない
- 日程が合わず、人材が集まらない
- 行政や他団体との連携が難しい
- 組織の循環が必要
- 次期リーダーの育成
- 広告宣伝
- 人間関係

①	54
②	58
③	22
④	19
⑤	6
⑥	26

課題を解決するために取り組んでいることがあれば具体的に記入をお願いします。

- 事業経費等の抑制
- 活動資金を集める関係で地域住民の方へ協力してもらえるようお願いしている。
- 環境や情報変化等を関係者と常に情報交換し、各種アドバイスを受けられる体制づくりと他団体との交流
- 地域で活動している団体と連携を模索
- 個人ではなく、相手が所属している団体にイベント参加への呼びかけ。
- 地域イベントに積極的に参加、地元との交流
- ビジネス化の仕組みづくり。
- 他

→ 【問10】へお願いします。

【問3】で「③」を選択された方におうかがいします。（【問9-1】から【問9-2】まで）  
 【問9-1】 元気づくり支援金活用事業を実施した後、休止又は終了した  
 年度を記入してください。

解散年	
H28	10
H29	1
H30	2
未記入	2

【問9-2】 活動を休止又は終了した理由を次の番号からお選びください。（複数回答可）

- |                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| ① 当初の目的を達成      | ⑤ 地域住民の理解不足            |
| ② 資金確保が困難       | ⑥ 団体運営に関する知識不足         |
| ③ 人材確保が困難       | ⑦ モチベーションの低下           |
| ④ 他の機関・団体との連携不足 | ⑧ その他（具体的に下欄にお書きください。） |

①	12
②	0
③	0
④	0
⑤	0
⑥	0
⑦	0
⑧	4

その他

- |                              |
|------------------------------|
| ○ 他団体へ事業を移行                  |
| ○ イベント開催時ごとに団体を設立するため、次回まで休止 |
| ○ 他                          |

【問10】 元気づくり支援金を活用した経験から、元気づくり支援金の補助内容などに関して  
 のご提案や、これから応募する団体へのアドバイスがあればお書きください。

- |   |
|---|
| ○ 皆さまのお役に立つ事業が大事  |
| ○ 事業の継続が最大の課題   |
| ○ いかに多くの住民を巻き込んでいけるか、身内だけで開始終了しても意味がないので、それを重要視して考えていくべき。   |
| ○ 新たなチャレンジに使うには有効な支援金。初めの一步の背中を押してくれるものと考えて進めば良い。   |
| ○ 支援金は刈払機やチェーンソー等の物品購入だけでなく、技術向上のための講習会・安全衛生講習にも活用させていただいた。その中で得た技術や知識は新しいメンバーを受け入れる際とても役立っており、活動を継続しているポイントになっている。 |